



撮影:山口敦

日本橋・音から「まち」を味わう非日常の「船上の音遊び」

名橋たちの音を聴く

Vol.12 since 2010

2016.04.09 土 ①11:30-12:30 / ②13:00-14:00

会場:日本橋川／乗下船:日本橋船着場

今から105年前、ルネサンス様式のアーチ橋に架け替えられた「日本橋」は、水上をゆく船からの眺めをも意識して丁寧にデザインされたものでした。今回は、「脚のヴィオラ」という意味をもつ古楽器ヴィオラ・ダ・ガンバの音色で重要文化財でもある名橋「日本橋」とその周辺にかかる橋たちがもつ響きを愛でていきます。織田信長をはじめ安土桃山の大名たちも耳を傾けたとされるヨーロッパの弦楽器の音色の向こうに、都市が奏でる音の風景=サウンドスケープを聴きながら、音をきっかけにまちを味わう「船上の音遊び」。

品川聖 (ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者)

辻康介 (声楽家)

鳥越けい子 (青山学院大学教授)

鷲野宏 (都市樂師プロジェクト主宰)

主催 / 企画 ▶ 都市樂師プロジェクト

制作協力 ▶ Da Nemo

協力 ▶ 名橋「日本橋」保存会

三井不動産株式会社

協賛 ▶ 株式会社ジール (使用船舶所有者)

<http://toshigakushi.com>

sound
soundscape
site-specific
landscape
urban environment
urban history
-scape

名橋たちの音を聴く



辻康介 (声楽家)

1600年頃のイタリア音楽を中心に様々なジャンルの音楽を歌い、イタリア語歌を独自訳の日本語でも歌う。主宰する三つのユニット「ビスマロVisMelodica」「ネーモー・コンセルトゥームnemo concertato」「南蛮ムジカ」での活動を中心、「ジョングルール・ポン・ミュジシャン」などで歌う。「辻康介の体感音楽史：中世の移動ド」講座には数多くの受講生が集まっている。声楽を牧野正人、クラウディオ・カヴィーナらに師事。国際ロータリー財団奨学金でイタリアに留学、声楽の他にも古楽の理論的基礎を学んだ。国立音楽大学楽理科卒。



鷲野宏 (都市楽師プロジェクト主宰)

アートディレクター／デザイナー。芝浦工業大学環境システム学科（曾根幸一・環境設計研究室）卒。代議士秘書を経て、2007年鷺野宏デザイン事務所を設立。グラフィックデザインやアートプロジェクトを中心に活動。主宰する「都市楽師プロジェクト」では、音・音楽をきっかけとして建築や都市空間のもつ「その場らしさ」を共有していくためのプログラムを東京各地で企画・展開している。日本サウンドスケープ協会理事。



桐朋学園大学古楽器科を1999年卒業後、同年フリュッセル工芸音楽院に留学。2003年ディプロマを取得し首席で卒業。ヴィーラント・クイケン氏ほかに師事。留学中の2001年、安曇野でのソロ・デビューや、各地でコンサート活動を展開。主としてヴィオラ・ダ・ガンバのソリストとして活躍。2006年より「J.S.バッハ：ガンバソナタ全曲」のコンサートを毎年開催している。これまでに3枚のソロCDをリリース。東京古典楽器センター講師。日本ベルギー学会会員。公式ウェブサイト <http://hijiri-s.com/>



鳥越けい子（青山学院大学准教授）著

(青山学院大学教授／芸術文化学博士)
日本各地の音文化の調査研究をおこないつつ、「サウンドスケープ(音の風景)」から「形あるもの・見えるモノを超えた環境」をテーマに、生活文化の継承や伝統文化の新たな活用を視座に入れたまちづくり、環境をめぐるデザインから保全に至る各種のプロジェクト、都市をフィールドにしたワークショップを展開している。専門は、音の環境文化学、環境美医学、音・音楽とまちづくり。聖心女子大学教授を経て、現在、青山学院大学総合文化政策学部准教授。



詳細・お申込は Web で

<http://toshigakushi.com>

参加費 4,000 円 お申込先着順／各便定員 30 名

※雨天・荒天中止

日本橋船着場 (日本橋南東橋詰)

半蔵門線・銀座線「三越前」駅 B6 出口徒歩 1 分／東西線・銀座線・都営浅草線「日本橋」駅 B1 2 出口徒歩 3 分



橋の響きを味わうための主な演奏予定曲

ゲオルク・フィリップ・テレマン「忠実な音楽の師」より ソナタニ長調 第2楽章
Georg Philipp Telemann(1681-1767) Sonata in D major from "Der getreue Music-Meister"; Vivace

カール・フリードリヒ・アーベル「ガンバのための 27 の小品」より 3つの小品 ニ短調 WKO205
Carl Friedrich Abel(1723-1787) 3Pieces(WKO205) in D minor from "27Stücke für Gambe"

マラン・マレ「ヴィオル曲集第1巻」組曲 二長調 サラバンド
Marin Marais(1656-1728) Sarabande(Suite in D major)from "Pièces de violes, 1^{er} livre"(1686)

ヨハネス・シェンク「ドナウ河のこだま」Op.9より ソナタ第6番 イ短調 第7楽章
Johannes Schenk(1660-after1716) Sonata VI in a minor from "L'Echo du Danube", Op.9; Giga